

平成30年度第1四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では持ち直しの動き、非製造業では横ばい状態

コメント: 【製造業】

売上高において、対三カ月前比ではD I 値が▲28.6から40.0回復し11.4に改善した。大幅な悪化を見せた前回の調査とは打って変わって、今回の調査ではマイナス値からプラス値へ転換するほど著しい改善が見られた。対前年同期比では▲4.5とやや悪化。三カ月後予測では11.9から16.4悪化し▲4.5と慎重な見通し。

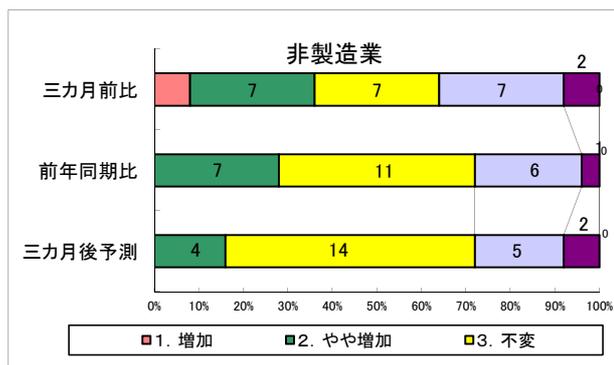
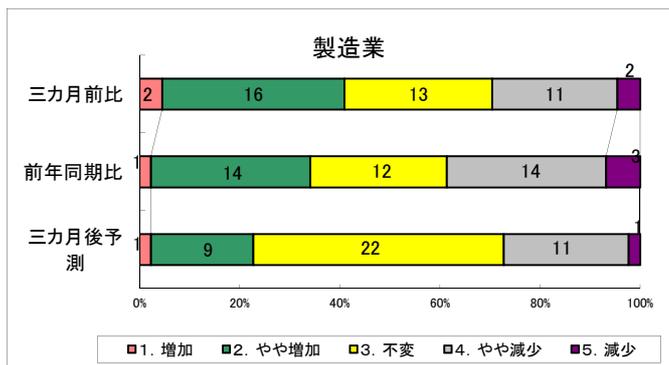
景況感において、対三カ月前比では▲19.0から7.6回復し▲11.4にまでマイナス幅を縮小させた。売上高同様、悪化を見せた前回調査から一転して持ち直しの動きが見られる。対前年同期比では▲11.4と悪化。三カ月後予測では4.8から2.5悪化したものの2.3と良好な見通し。

【非製造業】

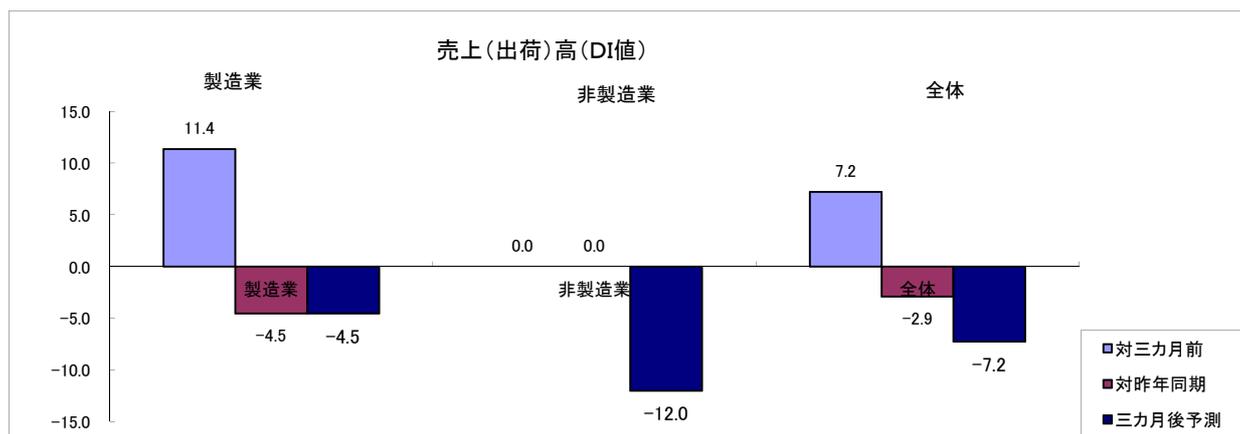
売上高において、対三カ月前比ではD I 値が横ばい推移の0.0であった。対前年同期比では0.0と昨年同様の水準をさした。三カ月後予測では11.5から23.5悪化し▲12.0と厳しい見通し。

景況感において、対三カ月前比では▲19.2から3.2回復し▲16.0にまでマイナス幅を縮小させた。前々回の調査から水準に大きな増減がなく、ほぼ横ばいの動きが見られる。対前年同期比では▲20.8と悪化した。直近一年では大きな水準変化が見られ一進一退を繰り返している。三カ月後予測では▲7.7から3.7回復し▲4.0と慎重な見通し。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対前年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対前年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	11.4	-4.5	-4.5	-28.6	-9.5	11.9
非製造業	0.0	0.0	-12.0	0.0	3.8	11.5
全体	7.2	-2.9	-7.2	-17.6	-4.4	11.8

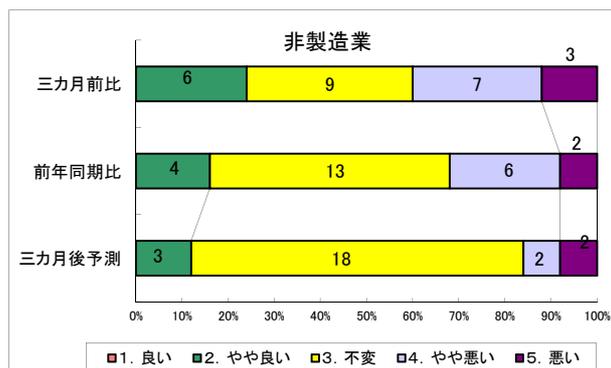
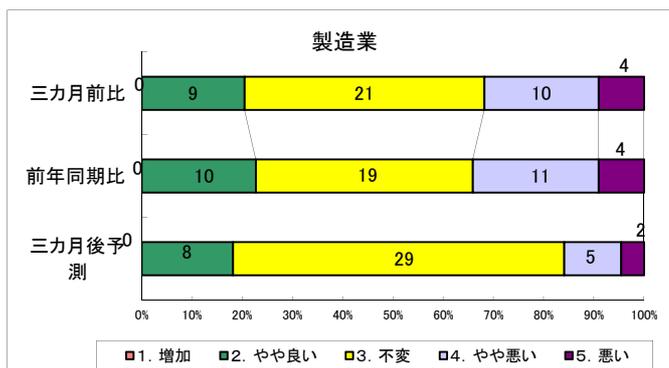


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲28.6から40.0回復し11.4に改善した。大幅な悪化を見せた前回の調査とは打って変わって、今回の調査ではマイナス値からプラス値へ転換するほど著しい改善が見られた。非製造業では横ばい推移の0.0であった。

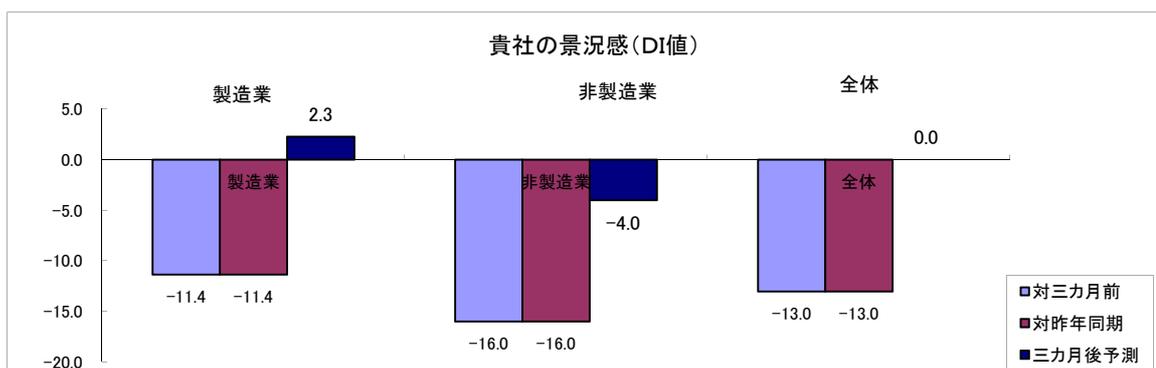
対前年同期比において、製造業ではDI値が▲4.5とやや悪化が見られた。非製造業では0.0と昨年同様の水準をさした。

三カ月後予測において、製造業ではDI値が11.9から16.4悪化し▲4.5と慎重な見通し。非製造業でも11.5から23.5悪化し▲12.0と厳しい見通し。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-11.4	-11.4	2.3	-19.0	-4.8	4.8
非製造業	-16.0	-16.0	-4.0	-19.2	-7.7	-7.7
全体	-13.0	-13.0	0.0	-19.1	-5.9	0.0



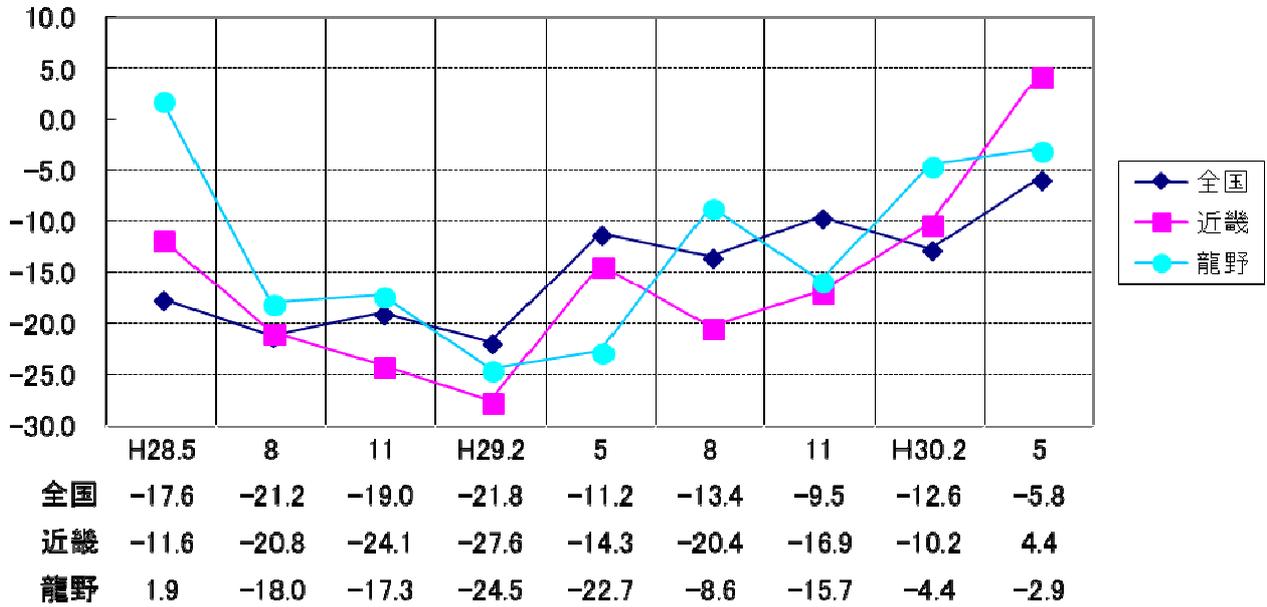
対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲19.0から7.6回復し▲11.4にまでマイナス幅を縮小させた。売上高同様、悪化を見せた前回調査から一転して持ち直しの動きが見られる。非製造業では▲19.2から3.2回復し▲16.0にまでマイナス幅を縮小させた。前々回の調査から水準に大きな増減がなく、ほぼ横ばいの動きが見られる。

対前年同期比において、製造業ではDI値が▲11.4と悪化が見られる。非製造業でも▲20.8と悪化した。直近一年の調査結果では大きな水準変化が見られ一進一退を繰り返している。

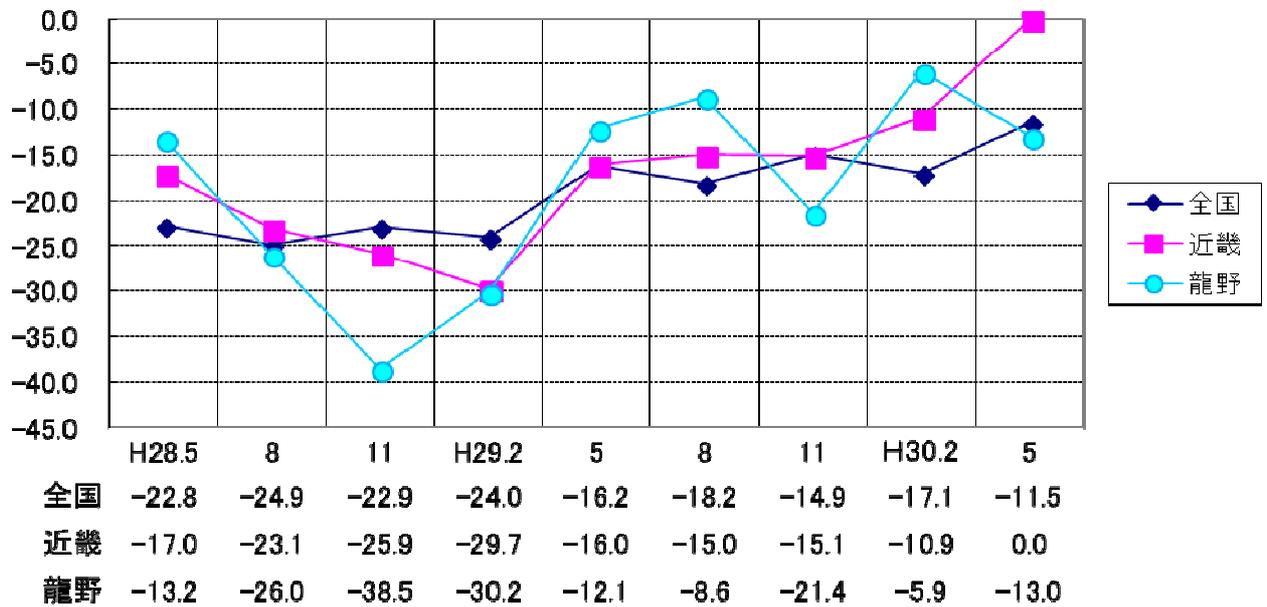
三カ月後予測において、製造業ではDI値が4.8から2.5悪化したものの2.3と良好な見通し。非製造業では▲7.7から3.7回復し▲4.0と慎重な見通し。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)高 対前年同期比



景況感 対前年同期比



全国・近畿ブロック別調査………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H30. 2の数値は1月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成30年4月27日(金)～5月11日(金)(基準日5月1日)
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員、地区振興委員、青年部、女性会 130社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 対象企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	8
建設業	10
醤油工業	15
食品工業	26
皮革工業	23
公益業	21
サービス業	15
商業	12
合計	130

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	82	44	53.7%
非製造業	48	25	52.1%
合計	130	69	53.1%